

作成日：平成24年3月12日

## 第6回講座を受講して

塾生番号：01 氏名：三橋達雄

経済再生担当 社会保障・税一体改革担当 内閣府特命担当大臣（経済財政政策）という要職にある現役閣僚の甘利明衆議院議員を講師としてお迎えした当講座は、アベノミクスとの呼称が定着した現政権の経済政策を「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」の3本の矢を用いていかに具現化するのか、それを極めて論旨明快にお教えいただく極めて貴重かつ充実した時間となった。

中でも、巷間で具体性が感じられにくいと指摘される事の少なくない「成長戦略」は、一例として「健康長寿社会」を挙げて政府が責任を持つロードマップの一端を示していただくなどして巷間の思いを一蹴。さらには「政府の賃上げ要請」に呼応したコンビニ業界大手のベア実施に関連し、非正規社員などの賃上げも検討されているようだとの見解も示された。そうした先生のお話には巷間の批判に対しておよそぬかりが無く、現政府のこれらの政策が「失われた20年」ともいわれる日本経済の低迷から脱し、新たな日本成長を必ずやもたらす筈だと私には強く感じられた。

東日本大震災から2年が経過した。復興の歩みは「もう2年」が経過したともいえるし「まだ2年」しか経っていないとも言える。復興には日本全体の更なる成長が必須である。もちろん、経済成長以外にも復興のため

にそれぞれの地域や社会、国民が今まで以上に担うべき課題は多い。

そのために自身が成しえる事には何があるのか。

ひとつには、私自身の生活はこれまで、小企業の経営者として社員や取引先、家族を守りながら各種の税と社会保険料をきちんと納めるために堅実かつ我慢の経営を続けてきた。そのやせ我慢も限界に近づいてきたと感じているところではある。それを「もうひとがんばり」する事。

もうひとつには、アベノミクスが奏功する大前提の政権の長期安定のため、まずは今夏の参議院選挙における自民党の勝利を目指し、自身のできる範囲で微力ながらも自民党を応援して行きたいと思う。

自分にとってはそのような前向きな考えになれる講義であった。

最後になりましたが甘利明先生、大変ご多忙な中を我々自民党ぎふ政治塾生の為に貴重なお話とお時間を賜り、本当にありがとうございました。